

変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2014
October

No. 151

10



JA全農ぐんま

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心して結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。



事業のうごき 10

営農総合支援センター

- 豪雪被害に係る野菜の生産支援
- J A 営農経済渉外活動の導入・実践にともなう総合的な支援
- 担い手支援のための取り組み
- 食の安全・安心対策への取り組み

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良 E T 卵産子の活用促進)

米麦特産課

- こんにゃく生玉集荷・販売推進
(取扱期間10月20日～12月15日)
- こんにゃく荒粉・精粉販売推進 (入札の実施)
- きのこと種菌・菌床ブロック予約推進
- 群馬県産トマトジュース推進

園芸部

園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味なら販売 (周年)
- 県統一規格共計きゅうり抑制販売 (12月末日迄)
- 共計白ねぎ販売 (3月末日迄)

販売促進課

- 秋冬野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

園芸資材課

- 秋冬野菜出荷資材予約・当用推進
(段ボール・パック・フィルム・果樹用資材等)
- 低コスト段ボール推進
(A K ライナー・新形状段ボール等)
- 温床資材予約推進
(農ポリ・トンネル資材・カーテン資材・こんにゃくマルチ等)
- 秋冬用野菜種子推進
(ほうれん草・ねぎ・きゅうり等)
- 種馬铃薯注文取りまとめ

生産資材部

花木流通センター

- 売出し・フェアの実施
☆花木流通センター
10月17日(金)～20日(月)
秋の収穫感謝フェア
- ☆愛菜館
10月24日(金)～26日(日)
グッドぐんまの農産物フェア
- 10月8日(水)・18日(土)・29日(水)
8の日お米特売
- 造園工事推進

肥料農業課

- セルフブレンド推進
- 麦肥料推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- 麦作除草剤推進

農業機械課

- 丸山サンクスキャンペーン (周年)

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 生花利用拡大運動 (周年)
- エコーペット茶 (周年)
- 仕込み味噌推進 (H26.10月～H27.3月)
- 「上州もみきりうどん」「四季のめん詰合せ」
「上州おっ切り込みご膳」推進 (10月～12月)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産「新築そっくりさん」推進 (周年)

自動車燃料部

ガス課

- ガス器具キャンペーン
- ふれあい訪問活動推進
- 第2回クマイイガス器具特別推進



平成26年度TAC活動研修会【管理者向け】
(9.1 前橋市内)

■意識統一と体制強化を図る

9月1日(水)、営農総合支援センターは、今後のTAC(営農経済渉外)活動に向け、担当者を統率する管理者としての役割を再認識すると共に情報の共有化を図ることを目的とした「平成26年度TAC活動研修会【管理者向け】」を開催しました。研修会には、TAC活動に取り組む県内13JAの管理者をはじめ、当県本部の現業部署担当職員などが出席しました。研修会では、主催者による情勢報告や、新潟県のJA越後中央による基調講演が行われ、今後の活動に対する意見交換が行われました。また、事例報告を行ったJA利根沼田は、担い手のニーズに応える取り組みとして、セルフブレンド肥料を推進することで、大規模農家の更なる規模拡大や作業効率の向上などの成果があらわれたことを発表しました。

■復興のシンボル

「あずま野菜集送センター」に期待

9月3日(水)、「JA佐波伊勢崎あずま野菜集送センター新築工事起工式」が執り行われ、設計及び施主代行を務める当県本部も出席しました。同センターは、2月に発生した雪害により倒壊し、甚大な被害を受けました。式典で挨拶に立った児島組合長は、「雪害からの完全復興が使命であり、最大の課題である。センターを早期に新築し、群馬の食糧基地としての役割を取り戻したい。」と述べ、工事の無事を祈りました。新しいセンターは、雪害にも十分に耐えられるよう耐久性を強化し、デザインも一新します。完成は来年の1月末を予定しており、復興のシンボルとして期待されています。



JA佐波伊勢崎あずま野菜集送センター
新築工事起工式
(9.3 建設予定地)



JA佐波伊勢崎農産物直売所及び
ミニストップ伊勢崎百々店新築工事地鎮祭
(9.5 建設予定地)

■農産物直売所

「からかーぜ〜まゆの郷〜」を起工

9月5日(金)、「JA佐波伊勢崎農産物直売所及びミニストップ伊勢崎百々店新築工事地鎮祭」が執り行われ、設計及び施主代行を務める当県本部も出席しました。現在、さかい営農センター敷地内にある農産物直売所さかい店を移転し、「からかーぜ〜まゆの郷〜」として一新します。新店舗は、国道354バイパス沿いに建設され、ミニストップが別棟で併設されることから、相乗効果による更なる集客力アップが期待されています。児島組合長は、「好立地への移転は、念願であった。雪害から復興し組合員の経営安定を図るためにも、最大限の力を注ぎたい。」と挨拶しました。



雪害によるハウス資材対策会議
(9.8 JAビル)

■情報を共有化し、対策を協議

9月8日(月)、園芸資材課は「雪害によるハウス資材対策会議」を開催し、県内JA・中央会・県・系統メーカーの担当者など約60名が出席しました。この会議は、2月に発生した雪害によるハウス資材の供給状況について、現状を把握し適正な情報の共有化を図ることを目的としており、渡辺パイプ(株)による全国的な資材供給と情勢についての説明や今後の対策について意見交換が行われました。雪害以降、造管メーカーはフル稼働状態にあるものの、急増した需要に対する供給は今なお困難な状況が続いています。当県本部は、関係機関や系統メーカーと連携し、資材確保に全力で取り組むと共に、建て方講習会を開催するなどして更なる早期復旧に努めます。

■未来につなげる群馬の宝

9月11日(木)、渋川市中郷地区におけるこんにやく栽培の現状を視察すると共に、主産地における生産・流通上の問題点、生産振興などについて検討し、今後のこんにやく栽培技術の向上と経営改善の一助を目的とした「平成26年度群馬県こんにやく現地研究大会」が開催されました。当日は、群馬県内外の生産者や関係者が参加し、「TPP農業交渉の見通し、国内農業への影響」と題した講演会や、低コスト栽培及び乗用トラクター装着球状生子植付機の市販化についての説明、現地視察が行われました。



平成26年度群馬県こんにやく現地研究大会
(9.11 渋川市内)

■消費者と「つながる」イベントでPR

9月20日(土)、JA邑楽館林と当県本部は、東京都町田市のグランベリーモール(ショッピング・アウトレットモール)が行う「マチがつながるプロジェクト」に参加し、「群馬県産野菜フェア～JA邑楽館林産直フェア～」を開催しました。このプロジェクトは、町田市と全国の街を笑顔でつなげることをコンセプトとしており、JA邑楽館林を構成する1市5町の特産物のPRが行われました。会場では、きゅうりを始めとする特産物の販売や地域農業応援団Menkoiガールズ・サラダのパフォーマンス、きゅうりの冷汁うどんやレシピの無料配布などが行われ、多くの人で賑わいました。



群馬県産野菜フェア～JA邑楽館林産直フェア～
(9.20 東京都町田市グランベリーモール)



群馬ヘリポート「空の日フェスタ」
(9.20 群馬ヘリポート)



平成26年度TAC活動研修会(園芸資材)
(9.26 前橋市内圃場)

■地域のイベントを応援

9月20日(土)の「空の日」に合わせ、6年前から行われている(株)日本航空コンサルタンツと大成サービス(株)主催の「空の日フェスタ」が今年も開催されました。このイベントに当県本部も協賛し、ぐんま県産米販売促進協議会から「あさひの夢2kg×10袋、500g×100袋」を無償提供しました。提供したあさひの夢は来場者を対象とした抽選会の景品として使われ、当選した家族連れなどに大変喜ばれました。

■技術を習得し現場に活かす

9月26日(金)、営農総合支援センターと園芸資材課共催の「平成26年度TAC育成研修会(園芸資材)」が開催されました。今回の研修会は、6月に続く2回目の開催となり、前回参加できなかったJ A職員(TACや資材担当者)や若手職員、パイプハウス施工を行う建設業関係者などが参加しました。2月の雪害で倒壊したパイプハウスの撤去が進む中、今後の再建に向けた技術習得を目的として、パイプハウスを実際に建てる実地研修を行いました。

平成26年産米の集荷・販売対策並びに麦生産流通対策会議

10.2 JAビル

■生産振興に向け対策を協議

9月30日(火)、米麦特産課は「平成26年産米の集荷・販売対策並びに麦生産流通対策会議」を開催し、各J Aの担当者が出席しました。会場では、平成26年産米について、25年産にも増して行き先の不透明感が拭えない状況の中で商系業者の動きや市場価格動向を把握し、「買取方式」を

活用することで、集荷増・有利販売に繋げるための話し合いが行われました。また、民間流通麦の生産流通対策や飼料用米の需給動向についての情勢報告も行われ、米麦に関する現状とその対策が協議されました。

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

| 番組名/提供 | 放送日 ※再放送日 | 時間 |
|----------------------------|------------|--------------|
| 地域の特産! しいたけとほうれん草/JA赤城たちばな | ※11月 2日(日) | AM 8:00~8:30 |
| | 11月 3日(月) | PM 9:00~9:30 |
| 未来をはぐくむ! 食農教育と若手生産者/JA利根沼田 | ※11月 9日(日) | AM 8:00~8:30 |



三隅 有里子 アナ

冬の蒟蒻

Konnyaku Winter Gift

詰合せセット

消費拡大推進期間 H26.11/1~12/31

受注生産 このマークの商品は、受注生産のため、ご注文からお届けまで7~10日程度お時間がかかります。



表示価格は税込です



Aセット
1,080円(税込)



甘味セット
1,350円(税込)



Sセット 1,620円(税込)



特別セット 2,160円(税込)

お願い…商品の都合により、パッケージ・品名・量目等がかわることがありますので、ご了承下さい。 ※写真はイメージです

ご注文はJA・全農へ

■お問い合わせ先
JA全農ぐんま 米麦特産課
Tel 027-220-2251

2014年 JA-SS
茨城・栃木・群馬・埼玉・新潟
5県セルフガソリンスタンドキャンペーン

キャンペーン期間 2014.
11/1(土)▶11/24(月)

応募締切:2014年 12月1日(月)まで

※上記5県にて実施しておりますが、一部のJA-SSでは実施していません。予めご了承くださいませよう。お問い合わせ先を掲載しております。

まごころサービス

お届けしますキャンペーン

抽選で合計
1,000名様に
当たる!

お買い上げ合計2,500円(税込)以上のレシートでご応募ください。



B賞 900名様

A賞 100名様

国産の美味しさにこだわった「全農ブランド」商品



三菱UFJニコスギフトカード
(5,000円券×2枚 計1万円分)



写真は調理例です。(実際の商品はお惣菜の詰め合せになります。)

応募方法

STEP 1

キャンペーン実施店(※)で期間中にガソリン・軽油・灯油を、合計2,500円(税込)以上給油した方が対象となります。
※一部実施していないSSがあります。キャンペーンポスターののりを目印にご来店ください。

STEP 2

給油したレシートを応募用紙の裏面に貼ってキャンペーン実施SSにご応募ください。

※レシートを紛失された場合、再発行できないことがありますのでご注意ください。



STEP 3

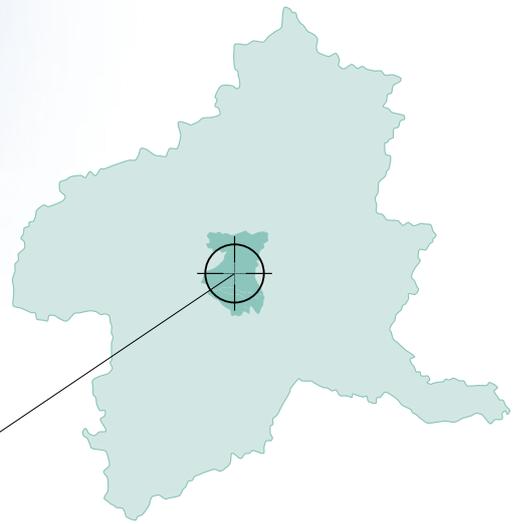
ご応募された方の中から抽選で、A賞「三菱UFJニコスギフトカード」(5,000円券×2枚 計1万円分)を100名様、もしくは、B賞「全農ブランド」商品が900名様に当たります。

お問い合わせ・配送のご依頼はお近くのJA-SSへ



農業 チャレンジ

JA北群渋川



農業に魅せられて 熱き思いで前進

JA北群渋川管内 津久井 美文 さん



津久井 美文
(つくいよしふみ) さん

1975年生まれ、39歳。
JA北群渋川青年部・こんにやく
の研究会に所属。

栽培面積：
こんにやく…………… 9ha

趣 味：旅行・お酒

就農までの道のり

今回のチャレンジャーは、JA北群渋川管内で家族と共にこんにやくの生産を行う津久井さんです。就農のきっかけを伺うと、「実家が農業を営んでいたため、身近な存在であったJAに就職しました。養豚の担当を9年、野菜の担当を3年務めました。その間に、青年部の事務局も担当していたのですが、後継者が生き生きと働く姿に魅力を感じ、自らも生産する側として農業に携わりたいと強く思うようになりました。」と話してくれました。

JAを退職し、就農して今年で7年目。こんにやくを中心に、トマト・ジャンボにんにく・アスパラガス・スイカ・メロン・カボチャ・ねぎを栽培しており、今の時期(9月)は、こんにやくの消毒や越冬トマトの管理、ジャンボにんにくの選別作業を行っています。

仕事にメリハリを

「作業量が多い時はパートさんに手伝ってもらっています。皆さんが和気あいあいと仕事をしている姿を見ると、人に恵まれていることを実感します。農業は自分一人では成り立ちません。家族や周囲のサポート

には本当に感謝しています。」と津久井さん。2年前に父親から経営を引き継ぎ、経営者としても仕事に邁進しています。

また、家族と過ごす時間も大切にしており、「仕事をやる時はやる。休む時は休む。」をモットーに、バランスのとれた生活を心掛けているそうです。

こだわりの農産物を消費者へ

津久井さんは、更なる技術向上を目指し、JA北群渋川青年部及びこんにやくの研究会に所属し、研修会に参加するなどして情報の共有化を図っています。「仲間同士、切磋琢磨しながら頑張っています。自分も同期には負けたくないのでからね。農業は、一回一回の作業がとても重要です。良いものを作るため、後悔のないよう日々精進しています。」と話してくれました。

最後に今後の展望を伺うと、「規模は拡大せず、今ある環境で品質にこだわった栽培を続けていきたいです。また、6次産業化の取り組みとして、今期からジャンボにんにくを使った黒にんにく作りを始めました。こちらも力を入れていきたいですね。」と津久井さん。確固たる信念を持って農業に従事する姿に、今後の活躍が期待されます。



1



2



3



4

1 「農業は、良くも悪くなるのも自分次第。だからこそ、納得のいくものができた時は嬉しい。」と話す津久井さん。越冬トマトを栽培するハウスにて。

2 こんにゃくの圃場での作業の様子。

3 ジャンボにんにくの選別。ひとつひとつ、手作業で行う。

4 出荷を待つ立派なジャンボにんにく。

がんばってまーす!

INTERVIEW

JA碓氷安中
営農販売課 農産振興係

飯塚 良太さん

Profile

いづか・りょうた (24歳)

趣味…………お笑い鑑賞(テレビ・DVD)

好きな食べ物…………そば

好きな色…………オレンジ

●職場の皆さんからみた飯塚さん

「物腰が柔らかく、様々なことに臨機応変に対応してくれるので助かります。若手のホープとして期待しています!」

「先輩方のような 一人前の職員を目指して」

— どうしてJAで働こうと思ったのですか？

実家は非農家ですが、近隣にこんにやく農家が多く、小学校の隣にJAがあったこともあり、農業は身近なものでした。また、地域に密着した仕事に就きたいと思っていたので、就職を決めました。

— 現在の仕事内容を教えてください。

組合員の方々が毎朝もってくる青果物の荷受を行っています。検査・検品や市場との値段交渉、営農指導などが主な仕事です。また、ふき・やまうど・梅・梨の部会の事務局も務めています。今の時期(9月)は、梨の出荷がピークなので、Aコープや直売所での販売促進活動の補助を行っています。

— 入組して何年目ですか？

2年目です。

— 1年目と比べてどうですか？

入ったばかりの時は、右も左も分からず苦労しました。組合員の方に積極的に声をかけ、顔と名前

を覚えてもらうことから始めました。2年目になり、周囲とのコミュニケーションは上手くとれるようになってきましたが、知識習得や技術向上に関してはまだまだです。

— 職場の雰囲気はどうか？

何でも気兼ねなく相談できるので、とても働きやすい職場です。また、今年度から後輩が入ってきたので、自分が入組したばかりの頃を思い出しながら接しています。

— 休日の過ごし方を教えてください。

地元の友達と遊んでいます。また、お笑いが好きなので家でテレビやDVDを見ることも多いです。

— 好きなお笑い芸人は誰ですか？

サンドウィッチマンです。たまたま見た番組に出ていたのですが、自分の笑いのツボにはまりましたね。他にも、トータルテンボスも好きです。テンボスよく進むコントは最高です。笑うことは健康に良いので、ストレス発散になっています。

— 他に興味のあることはありますか？

旅行ですね。京都に行ってみたいです。一度も行ったことがないので、ゆっくり散策してみたいです。

— 最後に、今後の意気込みを聞かせてください。

今はまだ先輩に頼っている状態ですが、組合員の方々の更なる所得向上と地域農業の活性化に貢献できるよう、日々努力しています。様々な経験を積む中で、「飯塚君いるかい?」と頼ってもらえる職員になれるよう頑張ります!

飯塚さん、お忙しい中ありがとうございました。



畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は9月25日に8月の牛乳乳製品統計を公表した。8月生乳生産量は60万tで前年同月比1.2%の減となった。北海道は31万9,856t(前年同月比0.4%減)で生産量の全国シェアは53.3%となった。

都府県の生産量は28万0,144tとなり、前年同月比で2.2%減少した。

■販売及び乳製品情勢

8月の用途別処理量は、牛乳等向けが31万6,617t(前年同月比3.8%減)、乳製品向けが27万8,484t(〃1.6%増)となった。

飲用牛乳等生産量は27万5,974kl(〃3.6%減)で前月から0.2ポイント減少し、内牛乳が23万4,893kl(〃3.9%減)、さらに乳飲料は12万2,493kl(〃6.4%減)で前月より3.2ポイント減少した。

生乳生産量と用途別処理量

(単位：t、%)

| 区分 | 月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 |
|--------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 生乳生産量 | 全国 | 626,346 | 572,501 | 643,041 | 626,764 | 650,316 | 618,861 |
| | 群馬(委託実績) | 18,314 | 15,987 | 19,066 | 18,815 | 19,236 | 17,948 |
| | 本会(委託実績) | 5,901 | 5,294 | 6,256 | 6,193 | 6,293 | 5,833 |
| 用途別処理量 | 飲用牛乳等向け | 313,870 | 302,630 | 315,910 | 318,995 | 342,141 | 345,154 |
| | 乳製品向け | 307,918 | 265,027 | 322,423 | 302,703 | 303,151 | 268,658 |
| | その他向け | 4,558 | 4,844 | 4,708 | 5,066 | 5,024 | 5,049 |
| 前年対比 | 生乳生産量(全国) | 97.2 | 96.3 | 96.8 | 96.4 | 96.9 | 97.0 |
| | 〃(群馬) | 97.7 | 91.7 | 95.8 | 96.0 | 96.4 | 96.3 |
| | 〃(本会) | 103.1 | 98.9 | 102.1 | 94.4 | 94.8 | 94.7 |
| | 飲用牛乳等向け | 97.9 | 100.5 | 98.5 | 98.4 | 98.8 | 99.6 |
| | 乳製品向け | 96.6 | 91.8 | 95.1 | 94.2 | 94.7 | 93.6 |
| | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 計 |
| | 618,018 | 600,000 | | | | | 4,955,847 |
| | 17,609 | 16,953 | | | | | 143,928 |
| | 5,646 | 5,411 | | | | | 46,828 |
| | 337,099 | 316,617 | | | | | 2,592,416 |
| | 275,983 | 278,484 | | | | | 2,324,347 |
| | 4,936 | 4,899 | | | | | 39,084 |
| | 97.8 | 98.8 | | | | | 97.2 |
| | 96.3 | 96.5 | | | | | 95.8 |
| | 94.2 | 95.5 | | | | | 97.2 |
| | 96.4 | 96.2 | | | | | 98.3 |
| | 99.4 | 101.6 | | | | | 95.9 |

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(10月予想) 出荷頭数の減少を背景に小高く推移する見通し。出荷回復に時間がかかるため今後も価格は崩れにくい見込み。

肉牛枝肉相場(予想)

和牛去勢A5 2,350円中心
和牛去勢A4 2,100円中心

和牛去勢A3 1,950円中心
和牛去勢A2 1,630円中心
交雑去勢B5 1,840円中心
交雑去勢B4 1,540円中心
交雑去勢B3 1,350円中心
交雑去勢B2 1,300円中心
乳牛去勢B2 850円中心

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

| 年・月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 平均・計 | |
|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 和牛去勢A4 | 25年 | 1,695 | 1,750 | 1,785 | 1,749 | 1,829 | 1,901 | 1,829 | 1,832 | 1,896 | 1,929 | 1,999 | 2,076 | 1,856 |
| | 26年 | 1,900 | 1,904 | 1,902 | 1,899 | 1,914 | 1,893 | 1,862 | 1,959 | 2,006 | | | | 1,915 |
| | 前年格差 | 205 | 154 | 117 | 150 | 85 | ▲8 | 33 | 127 | 110 | | | | 60 |
| 和牛去勢A3 | 25年 | 1,585 | 1,615 | 1,633 | 1,627 | 1,717 | 1,710 | 1,664 | 1,649 | 1,710 | 1,780 | 1,852 | 1,813 | 1,696 |
| | 26年 | 1,658 | 1,693 | 1,718 | 1,669 | 1,664 | 1,658 | 1,662 | 1,726 | 1,797 | | | | 1,694 |
| | 前年格差 | 73 | 78 | 85 | 42 | ▲53 | ▲52 | ▲2 | 77 | 87 | | | | ▲2 |
| 和牛去勢A2 | 25年 | 1,180 | 1,419 | 1,479 | 1,508 | 1,472 | 1,522 | 1,441 | 1,405 | 1,521 | 1,662 | 1,579 | 1,583 | 1,481 |
| | 26年 | 1,371 | 1,516 | 1,478 | 1,516 | 1,492 | 1,486 | 1,455 | 1,532 | 1,663 | | | | 1,501 |
| | 前年格差 | 191 | 97 | ▲1 | 8 | 20 | ▲36 | 14 | 127 | 142 | | | | 20 |

群馬県食肉卸売市場上場頭数

(単位：頭)

| 年・月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 平均・計 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 25年 | 1,000 | 1,123 | 1,025 | 1,236 | 929 | 898 | 1,126 | 1,098 | 1,090 | 1,162 | 1,584 | 1,385 | 13,656 |
| 26年 | 1,132 | 1,186 | 1,139 | 1,291 | 1,098 | 1,104 | 1,262 | 1,068 | 1,216 | | | | 10,496 |
| 前年増減 | 132 | 63 | 114 | 55 | 169 | 206 | 136 | ▲30 | 126 | | | | ▲3,160 |

■素牛動向

- ①全農・取引基準価格(乳去) 260~300kg 407円/kg(前月比95.1%)
 ②F1価格(去勢) 250~300kg 1,073円/kg中心(雌) 250~300kg 969円/kg中心
 ③和牛子牛(去勢) 594千円中心(前月比102%) (雌) 520千円中心(前月比101%)

養豚情勢

枝肉相場関係

豚群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

（単位：円税込）

| 区分 | 月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 年間平均 |
|--------|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 24年(A) | | 390 | 393 | 388 | 397 | 420 | 479 | 443 | 468 | 425 | 365 | 358 | 418 | 412 |
| 25年(B) | | 363 | 390 | 404 | 450 | 499 | 485 | 498 | 507 | 499 | 466 | 477 | 521 | 463 |
| 26年(C) | | 458 | 467 | 496 | 553 | 582 | 621 | 580 | 548 | 548 | | | | 539 |
| (B-A) | | ▲27 | ▲3 | 16 | 53 | 79 | 6 | 55 | 39 | 74 | 101 | 119 | 103 | 51 |
| (C-B) | | 95 | 77 | 92 | 103 | 83 | 136 | 82 | 41 | 49 | | | | 76 |

豚肉価格形成要因

豚群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

| 区分 | 月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 年間頭数 |
|--------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| と畜頭数 | 25年 | 45,435 | 40,085 | 41,826 | 42,393 | 40,315 | 34,599 | 40,317 | 37,843 | 39,480 | 47,010 | 43,823 | 45,029 | 498,155 |
| | 26年 | 43,425 | 39,985 | 39,852 | 44,690 | 39,069 | 36,628 | 39,821 | 35,032 | 40,542 | | | | 359,044 |
| 前年比(%) | | 95.6 | 99.8 | 95.3 | 105.4 | 96.9 | 105.9 | 98.8 | 92.6 | 102.7 | | | | 72.1 |

肉豚生産出荷予測（全国） * 8月まで実績／9月以降の出荷予測は

9月4日付けで農水省畜産部食肉鶏卵課が発表

（単位：千頭、前年同月比%）

| 区分 | 月 | 5月 | 6月 | 4~6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 7~9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 10~12月 | 1月 | 2月 |
|--------------|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 全国出荷予測頭数(千頭) | | 1,315 | 1,250 | 3,955 | 1,335 | 1,222 | 1,332 | 3,890 | 1,448 | 1,417 | 1,470 | 4,335 | 1,414 | 1,330 |
| 前年同月比(%) | | 93 | 100 | 96 | 97 | 93 | 98 | 96 | 94 | 95 | 95 | 94 | 97 | 99 |

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、10月の出荷見込頭数は1,448千頭（前年同月比94%）となっている。その後は11月1,417千頭（95%）、12月1,470千頭（95%）と予想されている。豚肉は弱持合い。9月上旬まで荷動きは順調だったが、高値疲れに加えて出荷頭数の回復により相場が急落した。農水省は今月、PEDの影響などで出荷が前年より6%減少すると予測するが、見通しと異なる可能性もあり、相場は不透明である。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

14年10月240円（見込み）109%（前年比）

（単位：円）

価格の推移

| 区分 | 月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 年間平均 |
|------------|-----|--------|-----|-------|--------|--------|------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|------|
| 25年(A) | | 171 | 190 | 175 | 172 | 164 | 155 | 157 | 175 | 211 | 220 | 260 | 280 | 194 |
| 26年(B) | | 224 | 240 | 230 | 223 | 204 | 199 | 190 | 192 | 231 | | | | 215 |
| (B-A) | | 53 | 50 | 55 | 51 | 40 | 44 | 33 | 17 | 20 | 0 | 0 | 0 | 21 |
| 全国基金 補填 | 25年 | 18,999 | 0 | 9,774 | 15,714 | 21,645 | 24.3 | 24.3 | 9,306 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 26年 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,088 | 0 | 0 | | | | |

※平成24年度鶏卵価格差補填事業については、9月以降補填財源はありません。

■価格動向：9月の平均単価は231円（前年同月+20円）と前年同月を上回り、平成25年10月～平成26年9月期平均は224円（前年同期比+40円）であった。

■出荷動向：卵重が増える他、夏場に強制換羽した鶏の産卵が本格化することで生産量が増加する。

■需要動向：東京都内の流通業者は「価格が高いので引き合いはいったん緩む」とみるが、気温低下とともに家庭向け、業務関係ともに徐々に動きが出る見込み。

卵価要因

| 区分 | 月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|----------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 加工卵輸入 実績(t) | 25年 | 1,838 | 1,961 | 1,997 | 2,283 | 2,151 | 1,776 | 2,084 | 2,488 | 1,867 | 2,201 | 2,451 | 2,631 | 25,728 |
| | 26年 | 3,060 | 2,845 | 2,688 | 2,286 | 2,314 | 2,393 | 2,427 | | | | | | 18,013 |
| | 前年比(%) | 166.5 | 145.1 | 134.6 | 100.2 | 107.6 | 134.8 | 116.5 | | | | | | |
| 餌付羽数 (千羽) | 25年 | 7,215 | 7,317 | 7,520 | 7,742 | 7,767 | 7,895 | 7,200 | 6,896 | 8,170 | 7,346 | 7,464 | 7,636 | 90,168 |
| | 26年 | 7,251 | 7,569 | 7,734 | 7,715 | 8,291 | 8,405 | 8,408 | 7,048 | | | | | 62,421 |
| | 前年比(%) | 100.5 | 103.4 | 102.8 | 99.7 | 106.7 | 106.5 | 116.8 | 102.2 | | | | | |

■餌付見込

※農水省は餌付け羽数見込みを公表しないことになったため、今後、餌付け羽数実績のみ掲載することになります。

■価格の推移

(7) 22年:194円
(8) 23年:188円
(9) 24年:181円
(10) 25年:207円
(1) 16年:173円
(2) 17年:204円
(3) 18年:184円
(4) 19年:169円
(5) 20年:193円
(6) 21年:175円

■原料情勢

①とうもろこし（シカゴ定期）

9月11日の米国農務省需給見通しによると、新穀2014/15年度は、単収が171.7ブッシェル/エーカー（前回発表167.4ブッシェル/エーカー）に上方修正されたことにより、生産量は363百万ブッシェル増の過去最高の14,395百万ブッシェル（前回発表14,032百万ブッシェル/エーカー）となる見通し。需要量は飼料、エタノールおよび輸出需要全体で170百万ブッシェル前回発表より上方修正され、期末在庫としては前回発表より194百万ブッシェル上方修正の2,002百万ブッシェル（在庫率14.72%）となった。

シカゴ定期は、コーンベルト南部では一部収穫が始まっており、生産地全体としてはおおむね適切な天候状況が続いている。米国農務省需給見通しで単収が大きく上方修正されており、直近については相場が軟調となり、12月限のシカゴ相場は、340セント/ブッシェル前後で推移している。

FOBプレミアムは、シカゴ定期が下落する中、農家が売り控えの傾向にあること、米国内における景気回復に伴って、生活・生産資材をミシシッピー水系において輸送する際の船（はしけ）需要が高まっていることから高騰しており、今後も米国産が国際競争力を有していることから堅調に推移すると思われる。

②大豆粕

9月11日発表の米国農務省需給見通しによると、米国大豆の2014/15年度産は、単収の上方修正により、生産量は87百万ブッシェル増の過去最高の3,913百万ブッシェルとなり、供給量は4,058百万ブッシェルとなった。需要量は搾油向け、輸出处向けともに増加し、3,583百万ブッシェルとなったものの、期末在庫は前回発表から45百万ブッシェル増加し、475百万ブッシェル（期末在庫率は13.26%）となった。

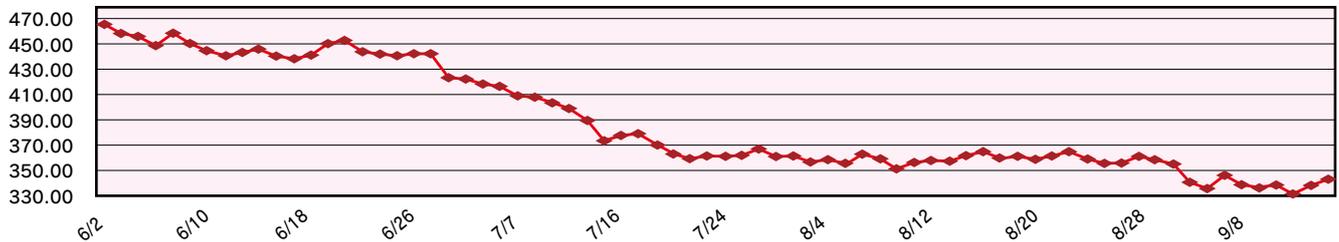
大豆粕のシカゴ定期は、大豆・大豆粕への需要が世界的に旺盛であることから、10月限は340セント/ショートトン前後で推移している。今後は消費国の動向に影響されながら推移すると見込まれる。

■海上運賃

パナマックスのガルフ/日本運賃は、北米新穀輸送の本格化に伴い相場が上昇し始めており、今後は中国向け大豆の輸出需要増加に伴い、より堅調に推移すると思われる。現状は46ドル前後で推移している。

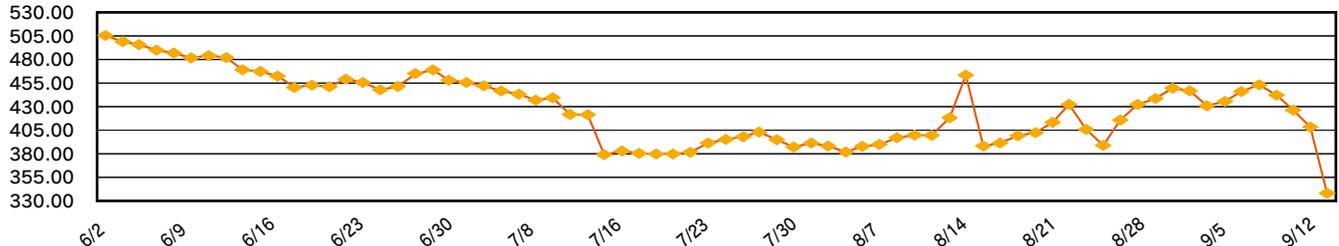
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



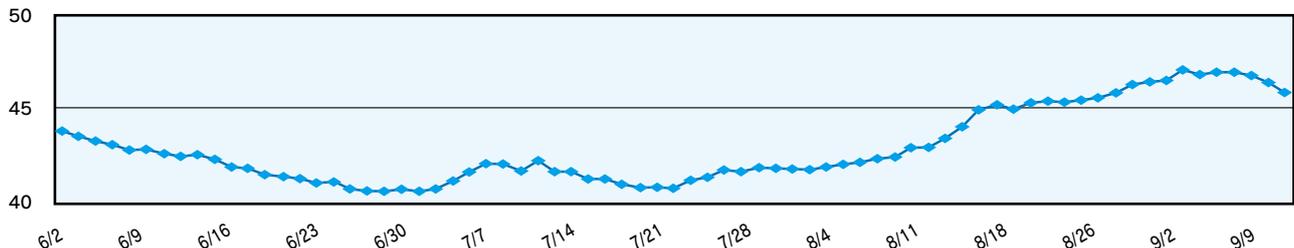
セント/ブッシェル

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター-便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！

「大植木祭り」今年も開催!!

年に一度のビックイベント! ご来場お待ちしております!

日時 11月1日(土)・2日(日)
午前10:00~ ※各種イベント・講習会への
お問い合わせは花木流通センターまで

両日

- くじ引き大会(お買い上げ2,000円ごとに1回)
- 植木名前あてクイズ(苗木プレゼント)
- もつ煮無料配布 11:30~
- だんべえ踊り 11:00~12:00 ●骨董市
- 果樹苗木の植え方講習会 13:30~

1日(土)

- バラの仕立て方講習会 10:00~・14:00~
- 松の手入れ講習会 10:30~
- 煉瓦の並べ方・敷き方講習会 10:30~
- パンジー・ビオラの仕立て方他講習会 11:00~・13:00~

2日(日)

- コニファーの手入れ講習会 10:30~
- じゃんけん大会
(勝った人には花苗プレゼント) 13:00~
- 花の寄せ植え教室 10:00~・14:00~

11月の売出し・イベント案内

色々な売出しやイベントが目白押し。ぜひお出かけください!

| 開催日 | 内容 |
|-------------------------------|---|
| 11月1日(土) 2日(日) | 大植木祭り |
| 11月13日(木) 10:00~ 14:00~ | 花の寄せ植え講習会 (各回20名まで) 【参加費・申込み方法等 問合せ先: ふうわーらんど】 |
| 11月16日(日) 10:00~ | 花の寄せ植え講習会 (20名まで) 【参加費・申込み方法等 問合せ先: ふうわーらんど】 |

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

花木流通センター

営業時間: 年中無休/9:00~18:00

(節電のため7月~9月毎週火曜日定休)

取扱商品

■園芸資材館/営農・園芸資材等 ■ふうわーらんど/鉢花、花苗等 ■JA植木コーナー/緑花木、盆栽等 ■エクステージ/外構・造園工事等 ■ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等 ■外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先

前橋市亀里町1307-1
TEL:027-220-2427
FAX:027-220-2424

愛菜館

営業時間: 毎週火曜日定休/9:00~18:00

取扱商品

■産直野菜
農産加工品/店頭精米等



お問い合わせ先

前橋市古市町106-1
TEL:027-210-7788
FAX:027-210-9811

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番
「県本部通信」係まで

E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp
※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



アンチョビ風味の 里いもサラダサンドイッチ

材 料

2人分

(1人分408cal)

| | | | |
|---------|-------|-----------|-----|
| 里いも | 220g | 食パン4枚切 | 2枚 |
| オクラ | 3本 | バター | 10g |
| アンチョビ | 15g | パプリカ(飾り用) | |
| オリーブオイル | …小さじ1 | ミント(飾り用) | |
| A | | | |
| レモン汁 | …小さじ2 | | |
| コショウ | …少々 | | |
| 塩 | …少々 | | |

作り方

- 1 里いもを洗い、皮つきのまま茹でる。
- 2 1の里いもの皮をむき、ボウルに入れ、熱いうちにつぶす。
- 3 オクラはサツと茹で、小口切りにする。
- 4 2に3とAの材料を加えて混ぜる。
- 5 食パンを2等分し、真ん中に切り込みを入れ、内側にバターを塗る。
- 6 5を軽くトーストし、4の里いもサラダをはさむ。
- 7 6を皿に盛り、パプリカとミントを添える。